

第三者評価基準 (様式2)  
【共通版】保育所用（自己評価表） R2年4月1日策定

## I 福祉サービスの基本方針と組織

## I-1 理念・基本方針

		自己評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		
<input type="checkbox"/> ① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	<input type="checkbox"/>	a · b · c
評価の着眼点		
<input checked="" type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。（保育所）		
判断した理由・特記事項等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員倫理綱領（平成15年7月）、事業団の基本理念（平成27年7月）を策定し、事業団ホームページへの掲載、当園の保育理念においても毎年度職員への配布と臨時職員会での説明を行い、毎月給食教育部会・職員会議・保育部会での輪読を行っている。</li> <li>・保護者への周知については、保護者会での説明配布資料を行い、新入園児の説明会でも同じように実施している。</li> <li>・園内の掲示板に、基本理念の掲示を行い地域への周知に努めている。</li> </ul>		

## I-2 経営状況の把握

		自己評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
<input type="checkbox"/> ② 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	<input type="checkbox"/>	a · b · c
評価の着眼点		

- 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
- 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
- 子どもの数・利用者（子ども・保護者）像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人（保育所）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
- 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・月次試算分析報告書による分析結果を基に、財務の動きを把握している。
- ・施設長等は、鹿児島市保育園協会主催の会議や研修等へ出席し、県内の動向を把握した旨を職員へ周知している。

③

② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。

a・・c

#### 評価の着眼点

- 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
- 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。
- 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
- 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・月次試算分析報告書による分析結果を基に、財務の動きを把握している。
- ・施設長会議等で園内の状況報告を行い、職員間での共有については会議等を活用している。

### I-3 事業計画の策定

		自己評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・ <input checked="" type="checkbox"/> ・c
評価の着眼点		
<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
判断した理由・特記事項等		

- ・2019年度から2021年度の事業団経営計画を策定し、全職員へ配布周知を行い定期的な見直しを行っている。

 5

② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。

 a · b · c

## 評価の着眼点

- 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
- 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
- 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
- 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

## 判断した理由・特記事項等

- 施設別計画推進部会を定期的に実施し、単年度実施計画及び取り組み状況や課題を見つけ改善を進めている。
- 前年度の事業報告を踏まえて、毎年当園の状況に合わせた事業計画を立てている。

## I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

 6

① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。

 a ·  b · c

## 評価の着眼点

- 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
- 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
- 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
- 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
- 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等が）されており、理解を促すための取組を行っている。

## 判断した理由・特記事項等

- 臨時職員会で全職員への周知を図り、事業計画に基づいた事業を行い、年に1度見直しを行っている。

 7

② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。

 a · b · c

## 評価の着眼点

- 事業計画の主な内容が、保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。
- 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
- 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
- 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

## 判断した理由・特記事項等

- ・保護者会で保護者資料として、配布し説明を行っている。
- ・保育園の入口に情報公開の冊子を設置している。

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		自己評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
<input checked="" type="checkbox"/> ① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	<input checked="" type="checkbox"/> a	・ b ・ c
評価の着眼点		
<p><input checked="" type="checkbox"/>組織的にP D C Aサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>保育の内容について組織的に評価（C : C h e c k）を行う体制が整備されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。</p>		
判断した理由・特記事項等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、園内研修を行い自己研鑽に努めている。</li> <li>・年1回保育所用自己評価（共通版と保育所版）や鹿児島県福祉サービス第三者評価利用調査を実施し、結果については会議等で職員へ周知し、改善に繋がるよう協議している。</li> </ul>		
<input checked="" type="checkbox"/> ② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> a	・ <input checked="" type="checkbox"/> b ・ c
評価の着眼点		
<p><input checked="" type="checkbox"/>評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員間で課題の共有化が図られている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。</p>		
判断した理由・特記事項等		

- ・鹿児島県福祉サービス第三者評価利用調査の結果については、会議等で全職員へ周知・協議を図り、改善に努めている。

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		自己評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
⑩	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	<input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事（災害、事故等）における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
・園内の会議等において、自らの役割や責任について事務分掌表にて明文化している。 ・会議等での園長挨拶の中で、経営管理に対する取り組みを伝えている。		
⑪	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
・遵守すべき法令等については、会議・日々の連絡会・回覧し職員への周知を図り遵守している。		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
⑫	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	<input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c

**評価の着眼点**

- 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
- 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
- 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
- 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
- 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。

**判断した理由・特記事項等**

- ・保育の質の向上については、課題を把握し改善のための具体的な取り組みについて、日々の連絡会・会議等で伝えている。

13

② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。

a・・c**評価の着眼点**

- 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
- 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
- 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
- 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

**判断した理由・特記事項等**

- ・月次試算分析報告書や計画推進部会において、事業活動計算増減分析表を3ヶ月ごとに行っている。

**II-2 福祉人材の確保・育成**

自己評価結果

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14

① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。

a・・c**評価の着眼点**

- 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
- 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画

がある。

計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。

法人（保育所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・県内の大学等へ出向き、卒業生の体験談や事業団の事業説明を行うなど人材確保につながる取り組みを行っている。また、ハローワーク等を利用して人材の確保に努めている。
- ・人材育成計画の教育研修制度に基づき、人材育成を実施している。

15

② 総合的な人事管理が行われている。

a · b · c

#### 評価の着眼点

法人（保育所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。

人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。

一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。

職員待遇の水準について、待遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。

把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。

職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・勤務評価実施規定に基づいて、職務遂行能力や職務に関する成果や貢献度等を評価している。

#### II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16

① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。

a · b · c

#### 評価の着眼点

職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。

職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。

職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。

定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。

職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。

ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。

改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。

福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

## 判断した理由・特記事項等

- 定期的な有給休暇取得状況を確認し、年間の取得状況をデータ化している。
- 個々の勤務実態記録と超過勤務記録簿のデータにより、就業状況を把握している。
- ワーク・ライフ・バランスに配慮し、短時間労働の導入や有休所得においては本人の希望により適時取得を促している。
- 事業団全体と園内にて、職場におけるハラスメント相談・苦情に関する窓口担当・及び相談・苦情解決委員を設け事務所内と園内に掲示している。

## II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17

- ① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

a・b・c

## 評価の着眼点

- 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
- 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
- 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
- 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
- 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。

## 判断した理由・特記事項等

- 目標管理シートを作成し、自分の目標に対して振り返る機会を設け、設定した目標について管理者が進捗状況の確認や面接を行っていく。

18

- ② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

a・b・c

## 評価の着眼点

- 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
- 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
- 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
- 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
- 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。

## 判断した理由・特記事項等

- ・事業計画の中に、期待する職員増が人材の育成に明記されている。
- ・教育研修規定に基づき、教育研修が実施されている。

19

(3) 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。

 a · b · c

## 評価の着眼点

- 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
- 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
- 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
- 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
- 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。

## 判断した理由・特記事項等

- ・教育研修規定に基づき、教育研修が実施されている。
- ・新任職員に対しては勤務記録誌で指導及び助言等を行い、他の職員については、職場内研修を実施し知識や技術等の向上に努めている。
- ・年間研修一覧にて、外部研修に関する情報提供を行い、職員が研修に参加出来るように配慮している。

## II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20

(1) 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、  
積極的な取組をしている。 a ·  b · c

## 評価の着眼点

- 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。
- 実習生等の保育の専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。
- 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
- 指導者に対する研修を実施している。
- 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

## 判断した理由・特記事項等

- ・実習開始前のオリエンテーションにて、保育実習要綱に基づき説明を行っている。
- ・実習期間中の学校職員の訪問等で実習内容について、連携を図っている。

## II-3 運営の透明性の確保

自己評価結果

## II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

21	<p>① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	<input type="checkbox"/> a · <input type="checkbox"/> b · <input type="checkbox"/> c
<b>評価の着眼点</b>		
<p><input checked="" type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法人（保育所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人（保育所）の存在意義や役割を明確にするように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人ホームページにおいて、基本理念・提供するサービスの内容・事業計画・事業報告・予算・決算・第三者評価受審結果・相談苦情の内容情報が開示されている。</li> <li>・園内の活動状況については、掲示板への掲示を行っている。</li> </ul>		
22	<p>② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	<input type="checkbox"/> a · <input checked="" type="checkbox"/> b · <input type="checkbox"/> c
<b>評価の着眼点</b>		
<p><input checked="" type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務分掌での明文化を行い、臨時職員会議で全職員へ周知・配布を行っている。</li> <li>・法人本部による内部監査を年1回、外部監査（公認会計士による指導）を2年に1回受審し、監査結果については改善を行い改善事項の報告を行っている。</li> </ul>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		自己評価結果
<b>II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</b>		
<b>23</b>	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	<input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。 <input checked="" type="checkbox"/> 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回、園内で子育て支援事業の一環として、にこにこランドの実施及び掲示をしている。</li> <li>地域行事への積極的な参加、世代間交流（長寿会）としての園内行事への参加依頼を行っている。</li> </ul>		
<b>24</b>	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	<input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 学校教育への協力を働いている。		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の職場体験学習を積極的に行っている。</li> </ul>		
<b>II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</b>		
<b>25</b>	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	<input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。		

- 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
- 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
- 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
- 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)

## 判断した理由・特記事項等

- ・関係機関の連絡先を事務所内へ掲示している。
- ・関係機関（児童相談所・保健センター・警察等）との連絡会を行い、必要な情報交換を行っている。

## II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26

① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。

a・b・c

## 評価の着眼点

- 保育所（法人）が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
- 保育所のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。(保育所)
- 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。(保育所)

## 判断した理由・特記事項等

- ・一時保育預かり事業の実施や子育て支援（にこにこランド・月1回）を行っている。
- ・年1回、民生委員（第三者委員）への現状報告を行っている。

27

② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。

a・b・c

## 評価の着眼点

- 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動（地域の子どもの育成・支援、子どもの貧困への支援等）を実施している。
- 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
- 多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
- 保育所（法人）が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
- 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のた

めの備えや支援の取組を行っている。

## 判断した理由・特記事項等

- ・にこにこランドを通じて、地域住民からの相談に応じている。

## III 適切な福祉サービスの実施

## III-1 利用者本位の福祉サービス

		自己評価結果
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	① 子どもを尊重した保育提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	<input type="checkbox"/> a · b · c
評価の着眼点		
<input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)		
判断した理由・特記事項等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の基本理念や職員倫理綱領、保育園の基本理念・保育方針・保育目標に基づいた保育が実施出来るよう、全職員に共通の理解を図っている。</li> <li>・法人の全体研修の中で、人権に関する研修に参加し理解を深めている。</li> </ul>		
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	<input type="checkbox"/> a · b · c
評価の着眼点		
<input checked="" type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 規定・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバ		

シーを守れるよう設備等の工夫を行っている。

子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・入所時にホームページや園だより等への掲載について、承諾の可否を書面にて行っている。
- ・職員倫理綱領において、人権の擁護・プライバシーの尊重について定めている。会議等にて、輪読を行っている。
- ・重要事項説明書のなかに守秘義務に関する事項があり、全職員へ配布し周知している。

III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

30

① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。

a · b · c

#### 評価の着眼点

- 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
- 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
- 保育所の利用希望者については、個別にていねいな説明を実施している。
- 見学等の希望に対応している。
- 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・法人の基本理念の掲示、重要事項説明書の冊子を入り口に設置、見学者の受け入れやパンフレット配布を隨時行っている。

31

② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。

a · b · c

#### 評価の着眼点

- 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
- 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
- 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
- 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
- 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・入所時には、入園のしおりと重要事項説明書により理解しやすいように、保護者等に説明している。
- ・保育の事由変更にあたっては、必要書類の提示と説明を行っている。

32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	<input type="checkbox"/> a · b · c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等の変更にあたっては、保育所児童保育要録を作成し転園先へ送付している。</li> </ul>		
<b>III-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。</b>		
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	<input type="checkbox"/> a · b · c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢によって帰りの会で、子ども自身がその日の出来事について発表する機会を設け、子ども満足の把握に努めている。</li> <li>・福祉サービス評価を行い、結果については全職員へ会議等で周知しており保護者へは保護者会にて説明を行っている。</li> <li>・意見箱による保護者の意見要望等については、全職員へ周知するとともに改善事項について、園内に掲示している。</li> </ul>		
<b>III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</b>		
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	<input type="checkbox"/> a · b · c
<b>評価の着眼点</b>		

- 苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。
- 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
- 苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
- 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。
- 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
- 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
- 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・ 苦情解決の仕組みについては、苦情解決責任者・担当者・第三者員等が設置され、苦情解決の仕組みを掲示している。
- ・ 苦情内容については改善の為の話し合いを行い、その都度対応策を掲示しホームページで公表している。
- ・ 入所の際、重要事項説明書のなかで説明を行っている。

35	(2) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	<input type="checkbox"/> a · b · c
----	--	------------------------------------

#### 評価の着眼点

- 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
- 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
- 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・ 入園のしおりと重要事項説明書において相談苦情受付担当者が、記載しており掲示板に掲示している。

36	(3) 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	<input type="checkbox"/> a · b · c
----	-------------------------------------	------------------------------------

#### 評価の着眼点

- 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
- 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
- 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
- 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。

- 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。  
対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。

## 判断した理由・特記事項等

- ・苦情対応規程及び相談・苦情対応マニュアルに基づき、対応している。

## III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37

- ① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

・ a · b · c

## 評価の着眼点

- リスクマネジメントに関する責任者の明確化（リスクマネジャーの選任・配置）、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。  
事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。  
子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。  
収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。  
職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。  
事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

## 判断した理由・特記事項等

- ・リスクマネジメントマニュアルを全職員へ配布するとともに周知している。
- ・ヒヤリハット・事故報告書を記録し、会議等で報告改善の取り組みを行っている。

38

- ② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

・ a · b · c

## 評価の着眼点

- 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。  
感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。  
担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。  
感染症の予防策が適切に講じられている。  
感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。  
感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。  
保護者への情報提供が適切になされている。（保育所）

## 判断した理由・特記事項等

- ・リスクマネジメントマニュアルのなかに、感染症対応についての記載がある。
- ・新型コロナウィルス感染症対策については、法人で事業継続計画を策定した。
- ・感染症発生時は、出入り口のホワイトボードに記載し情報提供をしている。

39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行ってい る。	<input type="checkbox"/> a · b · c
----	--	------------------------------------

## 評価の着眼点

- 災害時の対応体制が決められている。
- 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
- 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
- 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
- 防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

## 判断した理由・特記事項等

- ・避難訓練年間計画において、月1回の避難訓練と消防署立会いのもと年2回、総合避難訓練を実施し、反省を行い次年度に繋げている。また、避難訓練の際には非常持ち出し袋も持ち出している。
- ・子ども・保護者においては緊急時連絡・引き渡しカード、職員においては緊急連絡網を用いて安否確認を行う。
- ・食料や備品類等のリストを作成し、管理している。

## III-2 福祉サービスの質の確保

		自己評価結果
III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供さ れている。	<input type="checkbox"/> a · <input type="checkbox"/> b · c
評価の着眼点		
<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示さ れている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講 じている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)</li> </ul>		
判断した理由・特記事項等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の内容に関する全体的な計画が文書化されている。</li> </ul>		
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	<input type="checkbox"/> a · <input type="checkbox"/> b · c

**評価の着眼点**

- 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
- 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。
- 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
- 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。

**判断した理由・特記事項等**

- ・保育の内容に関する全体的な計画をもとに各年齢・各月の指導計画を作成、見直しを行っている。また、年度末に次年度の計画作成に反映させている。

**III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。**

42

① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。

a・b・c

**評価の着眼点**

- 指導計画作成の責任者を設置している。
- アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
- さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
- 全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。(保育所)
- 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
- 計画の作成にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
- 指導計画にもとづく保育実践について、振返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
- 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)

**判断した理由・特記事項等**

- ・アセスメントシートに基づいて、指導計画を作成している。
- ・指導計画責任者を以上児・未満児 2名設置している。

43

② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。

a・b・c

**評価の着眼点**

- 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
- 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
- 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
- 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者

のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・指導計画の評価、見直しにあたっては、保育の質の向上に関わる課題等を明確にしている。
- ・指導計画を緊急に変更する場合は、会議等で検討を行う。

#### Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

44

- ① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

a · b · c

#### 評価の着眼点

- 子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
- 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
- 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
- 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
- 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
- コンピュータネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・当保育所で統一された様式により、保育日誌・月案等の記録をし、その振り返りを指導に活かしている。
- ・記録の書き方や内容に差異が生じないように、会議のなかで指導を行っている。

45

- ② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。

a · b · c

#### 評価の着眼点

- 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
- 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
- 記録管理の責任者が設置されている。
- 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
- 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
- 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・個人情報の取り扱いについては、保護者に対し重要事項説明書に記載している守秘義務及び個人情報に関する事項を説明し、同意書をもらっている。
- ・就業規則により規定されている。

## 第三者評価基準 (様式2)

## 【保育所版】(自己評価表)

R2年4月1日改定

## A-1 保育内容

		自己評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A①	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	<input type="checkbox"/> a · <input type="checkbox"/> b · <input type="checkbox"/> c
評価の着眼点		
<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。		
判断した理由・特記事項等		
・保育所の保育理念、保育方針、保育目標に基づいて作成を行い、年度末に見直しを行っている。 ・指導計画責任者で見直し作成を行う。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	<input type="checkbox"/> a · <input checked="" type="checkbox"/> b · <input type="checkbox"/> c
評価の着眼点		
<input checked="" type="checkbox"/> 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。		
判断した理由・特記事項等		
・年齢に応じて、一人ひとりの子どもが心地よく快適に過ごせる環境を整備している。		
A③	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	<input type="checkbox"/> a · <input type="checkbox"/> b · <input type="checkbox"/> c
評価の着眼点		

- 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
- 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
- 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
- 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
- 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
- せかす言葉や制止させる言葉を必要に用いないようにしている。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・子ども達が安心して生活できるように配慮し、月案・個別指導計画の作成にあたっている。
- ・会議等において施設長が定期的に、子どもの気持ちに沿って対応するよう促している。

A <input checked="" type="checkbox"/> 4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	<input type="checkbox"/> a · b · c
---	---	------------------------------------

#### 評価の着眼点

- 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
- 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
- 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
- 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
- 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。

#### 判断した理由・特記事項等

- ・日々の保育のなかで必要に応じて個別に対応しながら、基本的な生活習慣が身に着くよう配慮している。
- ・子どもが使いやすい物の配置を行っている。

A <input checked="" type="checkbox"/> 5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	<input type="checkbox"/> a · b · c
---	---	------------------------------------

#### 評価の着眼点

- 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
- 子どもが自発性を發揮できるよう援助している。
- 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
- 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
- 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
- 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
- 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。

- 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。  
地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。  
様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

## 判断した理由・特記事項等

- 登園後、園庭にある遊具を子ども達が自由に使って遊んだり、思いやりの気持ちが育めるよう異年齢児交流の時間を設けている。

A6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/> a · b · c
----	---	------------------------------------

## 評価の着眼点

- 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。  
0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。  
子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。  
0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。  
0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。  
0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。

## 判断した理由・特記事項等

- 生活と遊びの場を分けるように、部屋を仕切っている。
- 日々の子どもの様子を連絡帳や送迎時に保護者に伝え、連携を取っている。

A7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/> a · b · c
----	---	------------------------------------

## 評価の着眼点

- 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。  
探索活動が十分に行えるような環境を整備している。  
子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。  
子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。  
保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。  
様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。  
一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。

## 判断した理由・特記事項等

- 保育のなかで子ども達が自由遊びを選択できる環境つくりに努めている。
- 1歳児は連絡帳や送迎時に保護者に伝え、家庭との連携を取っている。
- 2歳児は送迎時に、日々の子どもの様子を保護者に伝え、連携を取っている。(保護者の要望等)

A8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/> a · b · c
----	---	------------------------------------

**評価の着眼点**

- 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
- 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
- 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
- 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。

**判断した理由・特記事項等**

- ・5歳児の保育では、小学校との連絡会に参加し就学に向けての情報共有を行っている。
- ・3・4歳児の保育では、遊びを中心として（リズム＆運動遊び・英会話等）興味関心がある活動に取り組めるような環境を整え、また当番活動を通して自主的に行動したり責任感をもてるようにする。

A⑨	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a · b · c
----	---	-----------

**評価の着眼点**

- 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
- 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
- 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
- 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
- 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
- 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
- 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。
- 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。

**判断した理由・特記事項等**

- ・障害のある子に対しては、月案と個別支援計画で配慮事項の計画を立て保育を行っている。
- ・障害のある子どもの保育について研修等に参加している。

A⑩	⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a · b · c
----	---	-----------

**評価の着眼点**

- 1日の生活を見通して、その連續性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
- 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。

- 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
- 年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。
- 子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
- 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
- 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

## 判断した理由・特記事項等

- ・異年齢児の保育に考慮した遊びの提供をしている。
- ・メモや連絡会日誌などを用いて適切な引継ぎを行えるようにしている。

A11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、 保護者との関わりに配慮している。	<input type="checkbox"/> a · b · c
-----	---	------------------------------------

## 評価の着眼点

- 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
- 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
- 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
- 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
- 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。

## 判断した理由・特記事項等

- ・幼・保・小連絡会に参加し就学前に必要な情報交換を行っている。
- ・就学を見越した取り組みについて、保護者会やクラスだよりで情報提供を行っている。
- ・保育所児童要録を作成し、各小学校に送付している。

## A-1-(3) 健康管理

A12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	<input type="checkbox"/> a · b · c
-----	----------------------	------------------------------------

## 評価の着眼点

- 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
- 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
- 子どもの保健に関する計画を作成している。
- 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
- 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるよう努めている。
- 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
- 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
- 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。

**判断した理由・特記事項等**

- ・児童票で子どもの既往歴や予防接種の情報を収集しており、特に配慮の必要な子どもの健康情報については毎月の会議で情報共有している。
- ・生後6ヶ月までは、睡眠時の確認・記録を残している。

A13

② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。

a・b・c

**評価の着眼点**

- 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
- 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
- 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。

**判断した理由・特記事項等**

- ・健康診断（年2回）、歯科健診（年1回）を実施し、結果については日誌に記録し、情報共有している。
- ・健診結果を保護者に伝え、指摘事項のあった子どもに関しては早めの通院の声掛けを行っている。

A14

③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。

a・b・c

**評価の着眼点**

- アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
- 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
- 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
- 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
- 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
- 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。

**判断した理由・特記事項等**

- ・厚生労働省の保育所におけるアレルギー対応ガイドラインに基づき、生活管理指導表を医師に記入、提出してもらいアレルギー食の対応を行っている。
- ・誤配のないよう、各個人別に配膳時はお盆・食器類の色分けを行っている。

**A-1-(4) 食事**

A15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a · <input type="checkbox"/> · c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 食器の材質や形などに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢ごとの年間食育計画を栄養士が作成し、クッキングや野菜収穫体験を行っている。</li> <li>・給食では個人差や食欲に応じて、食事量を加減している。</li> <li>・その日の献立の写真を園内入り口に掲示し、子どもと保護者で話が出来るようにしている。</li> </ul>		
A16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a · <input type="checkbox"/> · c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある献立となるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回食事アンケート調査を実施し、家庭の様子や好み要望を参考にしながら献立作成等に活かしている。</li> <li>・季節の野菜や果物を取り入れた給食の提供を行っている。</li> <li>・衛生管理点検表にて、衛生管理が適切に管理されている。</li> </ul>		

**A-2 子育て支援**

	自己評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携	

A17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	<input type="checkbox"/> a · b · c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や連絡帳を活用しながら、日常的に情報交換を行っている。</li> <li>・毎月の保育計画を掲示し、保護者が日々の保育内容を知ることが出来るようにしている。</li> <li>また、その日の出来事に関してはクラスごとに活動内容・子どもの姿を記入し、お迎えの時間に合わせて掲示している。</li> </ul>		
<b>A-2-(2) 保護者等の支援</b>		
A18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	<input type="checkbox"/> a · b · c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等からの相談に応じる体制がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談内容を適切に記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。		
<b>判断した理由・特記事項等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々コミュニケーションを図りながら必要に応じて、個別での相談にも応じている。</li> <li>・相談内容に応じて、関係機関の情報提供を行っている。</li> </ul>		
A19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応 及び虐待の予防に努めている。	<input type="checkbox"/> a · b · c
<b>評価の着眼点</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしていく。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。		

- 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
- 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
- マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

## 判断した理由・特記事項等

- 登園時の視診や着替え等の時間を利用して、身体状況の確認を行っている。
- 虐待が疑われる場合は、記録や写真を残し全職員での情報共有を行い、必要に応じて関係機関等と連携を図る。
- 虐待・人権擁護に関しては、法人の研修に参加している。また、鹿児島みなみ保育園リスクマネジメントの中にある虐待の発見とその対応については、職員へ資料の配布・周知を行っている。

## A-3 保育の質の向上

		自己評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		
A②〇	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・ <input checked="" type="checkbox"/> ・c
評価の着眼点		
<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 <input type="checkbox"/> 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。		
判断した理由・特記事項等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>年1回、自己評価を行い保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。</li> <li>自らの自己評価の振り返りは行えているが、お互いの学びや改善の向上につなげていく必要がある。</li> </ul>		